

一、年議團の勤靜

五月二日一般出勤坑夫ノ入退時ハ別ニ爭奪行ハレス
頻々車種ナリキ

然レモ年議團本部ハ依然トシテ約百二十名出ル
時々智視貧ヲ特激レ困員ノ四散ヲ防止シ居ル

ト何等ノ行動ナク對峙中ナルカ益々年議ヲ有利
ナシレハル目的ヲ以テ再々演說會ヲ開催シ

一日時場所 大正十四年五月二日 自午後七時半
至午後十時半
生野町中銀谷加治屋所本林本茂勝方

二、目的 三菱元彈演說會

三、聴衆 約三百五十名

定刻ニ至ルヤ司會者前田ハ十六前單ナル同會ノ稱
ヲ述ハタル後藤原廣政即以下土名ノ弁士ハ交々起

ツテ

既往ニ於ケル鉱山側ノ坑夫ニ對スル待遇並ニ施設ノ不
備ナル實ヲ列挙シ採レテ之カ我國代表的資本家

ト謂フコトヲ得ル也

従来坑夫側ヲ之等改善ニ体申出クルコト一再ニ止マラ
サルモ其ノ却度甘言ヲ以テ一時ヲ糊塗スルニ過キスレ

テ愚心弄スルニ甚クシ

茲ニ於テ若坑夫等ハ勞働組合ノ必要ヲ痛感レ用
意ノ力ヲ以テ目的ヲ貫徹セントシタルニ視テ應セサル

ノヒカ刺一組合加入ヲ理由トシテ四角ハ首首レ加之

解雇手者類ノ如キニ至ラハ之亦他ノ会社鉱山
等ノ比ニアラサル僅少ニシテ踏踏ニ送ッカ如キ破目ニ陥

ラタナ